

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS SUMMER SCHOOL 2018

サマースクール 8/5(日) - 8/10(金) | 8/12(日) - 8/17(金)

OPEN DAY WORKSHOP

オープンデイ・ワークショップ 8/4(土) | 8/11(土)

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS (ダイバーシティ・イン・ジ・アーツ) では、2020年に開催する「国際障害者舞台芸術祭(仮称)」に向けて、ダンサー、俳優、パフォーマー、演奏者へのトレーニングを目的とした「サマースクール2018」をおこないます。「ダンス」「演劇」「音楽」のコースに分かれて、サーカス、ストリートダンス、コンテンポラリーダンス、演劇、音楽の各分野から日本人講師に加えて、アメリカ・デンバーから障害者による劇団PHAMALY(ファマリー)の俳優リーガン・リントンとメンバーを講師に迎えて少人数でのクラスを開催。5日間の合宿を経て、最終日にはワークショップの成果を発表するパフォーマンスをおこないます。

「国際障害者舞台芸術祭(仮称)」への出演を目指すダンス、演劇、音楽の各分野での活動経験のある方々を広く募集します。

あわせて、サーカスアーティストの金井ケイスケさんによるどなたでも参加可能な「オープンティ・ワークショップ」も開催!

それぞれが持つ身体機能や感性を活かしたパフォーマンスにチャレンジしませんか?

会場アクセス

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1

■ JR 大阪駅から (所要時間: 約 50 分)

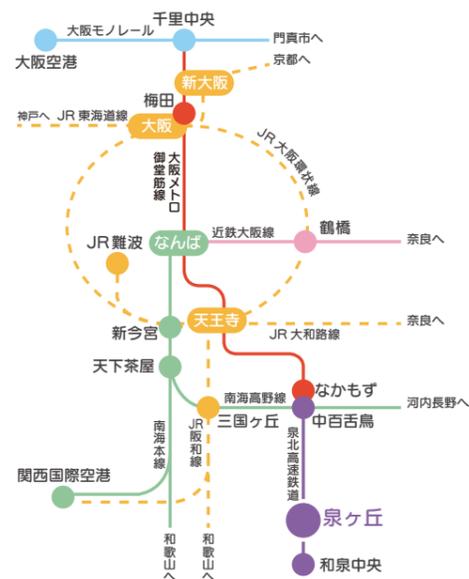
環状線内回り「新今宮駅」下車、南海電車「新今宮駅」にて
泉北高速鉄道と泉中央行に乗換え(徒歩約1分)。「泉ヶ丘駅」下車(徒歩約3分)

■ 大阪メトロ梅田駅から (所要時間: 約 40 分)

大阪メトロ御堂筋線なかもず行で「なかもず駅」下車、南海電車・泉北高速鉄道
「中百舌鳥駅」にて泉北高速鉄道と泉中央行に乗換え(徒歩約4分)。「泉ヶ丘駅」下車(徒歩約3分)

■ 各線難波駅から (所要時間: 約 35 分)

南海電車・泉北高速鉄道と泉中央行で「泉ヶ丘駅」下車(徒歩約3分)



主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS (ダイバーシティ・イン・ジ・アーツ)

申込み問合せ 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS パフォーミングアーツ・グループ 担当: 田村・原田 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-3-5 野村ビル 2 階
TEL (03)5577-6627 FAX (03)6811-7787 WEB <http://dita-pa.jp/>

*日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS では、2020 年の「国際障害者舞台芸術祭(仮称)」開催を目指して障害のあるダンサー、俳優、パフォーマー、アーティストの発掘・育成をおこなっています。多様な人が交流し協働できる表現活動の場を提供していくとともに、未来の舞台芸術の世界を担う人材の育成にも取り組んでいきます。

*スクールの記録のために、写真撮影およびビデオ撮影をおこないます。写真および映像は、当財団ならびに日本財団など関連団体の広報誌やインターネットサイト、ホームページなどに掲載されることがありますので、ご承諾ください。

*いただいた個人情報は個人情報保護関係法を守り、当財団が主催する事業の実施の目的意外には使用いたしません。



SUMMER SCHOOL 2018

サマースクール

日程 **前期** 8月5日(日)～8月10日(金) **後期** 8月12日(日)～8月17日(金)

会場 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1

参加条件 ダンス、演劇、音楽(楽器、歌)の各分野(ジャンル不問)で活動する16歳以上の障害のある方
 * 宿泊は相部屋となる場合があります。共同生活が難しい場合はご相談ください * 会場へ毎日通える方は宿泊する必要はありません
 * 会場までの介助が必要な場合は、介助者の同伴をご自身で手配可能なこと * 未成年の場合は、保護者の同意が得られること
 * 性別、障害の種別は問いません * 前期もしくは後期の全日程に参加が可能であること

参加定員 各期、ダンス/演劇/音楽 各コース:7名程度

参加料 無料/事前申込制/選考有り
 * サマースクール期間中の居住地から会場までの交通費、宿泊、滞在費は事務局が提供
 * 介助者の宿泊(朝食付き)は事務局負担。その他の交通費、食事などは自己負担
 * 傷害保険は事務局が加入
 * 詳細は参加決定後にお伝えします

応募方法 ホームページにある応募フォームに必要事項を入力の上、当財団までお申し込みください

申込先 URL: <http://dita-pa.jp/>

* 参加者選考のため、パフォーマンスの動画をYouTubeやSNSなどにアップし、URLを応募フォームに入力してください
 * ホームページからの応募が難しい場合は当財団までご相談下さい
 * 講師、当財団にて選考し、7月上旬に結果を連絡します

応募締切 2018年6月30日(土)

タイムテーブル * 各クラスの時間は目安であり、前後する場合があります。

前期	8/5(日)		8/6(月)		8/7(火)		8/8(水)		8/9(木)		8/10(金)		
	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
ダンスコース	表現力	オリエンテーション	座学	ダンス 2:00 4:00	座学	ダンス 2:00 4:00	音楽 10:00 11:30	ダンス 2:00 4:00	演劇 10:00 11:30	ダンス 2:00 4:00	発表準備	小作品発表	
演劇コース	2:00 4:00	休憩	10:00 11:30	演劇 2:00 4:00	10:00 11:30	休憩	演劇 2:00 4:00	ダンス 10:00 11:30	演劇 2:00 4:00	音楽 10:00 11:30	10:00 11:30	休憩	2:00 4:30
音楽コース				音楽 2:00 4:00		音楽 2:00 4:00	演劇 10:00 11:30	音楽 2:00 4:00	ダンス 10:00 11:30	音楽 2:00 4:00			

後期	8/12(日)		8/13(月)		8/14(火)		8/15(水)		8/16(木)		8/17(金)		
	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
ダンスコース	表現力	オリエンテーション	座学	ダンス 2:00 4:00	座学	ダンス 2:00 4:00	音楽 10:00 11:30	ダンス 2:00 4:00	演劇 10:00 11:30	ダンス 2:00 4:00	発表準備	小作品発表	
演劇コース	2:00 4:00	休憩	10:00 11:30	演劇 2:00 4:00	10:00 11:30	休憩	演劇 2:00 4:00	ダンス 10:00 11:30	演劇 2:00 4:00	音楽 10:00 11:30	10:00 11:30	休憩	2:00 4:30
音楽コース				音楽 2:00 4:00		音楽 2:00 4:00	演劇 10:00 11:30	音楽 2:00 4:00	ダンス 10:00 11:30	音楽 2:00 4:00			

OPEN DAY WORKSHOP

オープンデイ・ワークショップ

日程 **オープンデイ1** 8月 4日(土) <A> 午後1時～午後2時 午後3時～午後4時
オープンデイ2 8月 11日(土) <C> 午後1時～午後2時 <D> 午後3時～午後4時

会場 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ) 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1

参加条件 舞台芸術・文化活動に関心のある16歳以上の方、**初心者歓迎!**
 * 会場までの介助が必要な場合は、介助者の同伴をご自身で手配可能なこと * 未成年の方は、保護者の同意が得られること
 * 性別、障害の種別、障害の有無は問いません

参加定員 各回:20名程度(定員に達した場合は抽選とし、締切後5日程度でお知らせします)

参加料 無料/事前申込制

講師 金井ケイスケ [サーカスアーティスト]

応募方法 ホームページの応募フォーム、またはFAX、はがきのいずれかにて下記の必要事項を記入の上、当財団までお申し込みください
 申込先 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS パフォーミングアーツ・グループ 〒101-0047 東京都千代田区神田1-3-5 野村ビル2階
 URL: <http://dita-pa.jp/> FAX: (03) 6811-7787

- 氏名、性別、年齢、住所(郵便番号からご記入ください)、電話番号、FAX (FAXでの連絡を希望される場合はご記入ください)
- Eメールアドレス (info@dita-pa.jpからのメールを受け取れるよう設定してください)
- 希望クラス (8月4日<A>、8月4日、8月11日<C>、8月11日<D>)から選択下さい
- 障害の有無・種別(どのような障害があるかご記入ください)
- 志望動機
- 特記事項(ワークショップの参加について、疑問、不安及び要望等がありましたらご記入ください)

応募締切 **オープンデイ1** 2018年7月19日(木) **オープンデイ2** 2018年7月26日(木)

講師プロフィール



金井 ケイスケ [サーカスアーティスト]
 (オープンデイ・ワークショップ)
 (前期・後期各コース共通表現力クラス)

中学で大道芸を始める。1997年文化庁国内研修員として能を学んだ後、1999年文化庁海外派遣研修員として、日本人で初めてフランス国立サーカス大(CNAC)へ留学。卒業後フィリップ・デュクフレ演出のサーカス『CYRK13』で2年間のヨーロッパツアー。その後、フランス現代サーカスカンパニー「OKIHAIKUDAN」をセバスチャン・ドルトと立ち上げ、ヨーロッパ、中東、アフリカなど35カ国で公演。2009年帰国。2015年よりSLOW MOVEMENTパフォーミングディレクター。パリ市とアンスティチュ・フランセが主催するLesRecollets2016を受賞。



鈴木 ユキオ [コンテンポラリーダンサー]
 (前期ダンスコース)

「YUKIO SUZUKI projects」代表。世界40都市を越える地域で活動を展開し、しなやかに繊細に、かつ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。室伏鴻・中村恩恵の作品出演やMV出演、ミュージシャンとの共同制作など、活動は多岐に渡る。また、小学生出演ダンス作品の振付・演出や、障害のある方へのワークショップなど、身体と感覚を自由に開放し、個性や感性を刺激する表現を生み出す活動を幅広く展開している。2008年にトヨタコレオグラフィアワードで「次代を担う振付家賞(グランプリ)」を受賞。2012年フランス・パリ市立劇場「Danse Elargie」では10組のファイナリストに選ばれた。



DAZZLE (ダズル) [ダンスカンパニー]
 (後期ダンスコース)

「すべてのカテゴリーに属し、属さない曖昧な眩しさ」をスローガンに掲げ、比類ない世界観を持ち、獨創性に富んだ作品を生み出し続けるダンスカンパニー。ストリートダンスとコンテンポラリーダンスを融合させた、独自のダンススタイルを創り上げる。舞台作品においては映像によるテキストやナレーションで物語を紡ぎだし、映画・コミック・ゲームなどのジャンルカルチャーの要素を積極的に取り込む。2018年3月、日本財団・ユネスコ主催「TRUE COLOURS アジア太平洋障害者芸術祭」にてDAZZLEと障害のあるダンサーの混合チームにてオープニングアクトを務めた他、4月に東京ミッドタウン日比谷オープン記念「Hibiya Festival」Q HALL こけら落とし作品として、新作舞台「ピノキオの嘘」を上演した。



松永 貴志 [ピアニスト]
 (前期・後期音楽コース)

17歳でメジャー・デビュー。全米及びヨーロッパ、アジア各国で「STORM ZONE」をリリース。NYブルーノート・レーベル75年の歴史上、ジャズの帝王マイルス・デイビスの記録を塗り替え最年少リーダー録音記録樹立。テレビ朝日「報道ステーション」フジテレビ「新報道2001」など数々のTV番組オープニング曲、CM、映画音楽を担当。2013年、パリのルーヴル美術館で開催されたSNBA授賞式典に招待され演奏。2015年、ポーランドのManggha Muzeum 設立20周年式典に招待されポーランド大統領の前で演奏。パリの文化省トップから「彼のピアノは世界を驚愕させる」と評価された日本が誇る世界的天才ピアニスト。抜群のリズム感と圧倒的なピアノムは世界中から高い評価を得ている。



山口 茜 [劇作家、演出家]
 (前期演劇コース)

2000年自身の劇作、演出で演劇を上演する団体、トリコ・Aを設立。2003年第10回OMS戯曲賞大賞受賞。2007年若手演出家コンクール2006最優秀賞受賞。2007年から2009年文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてフィンランドに滞在。フィンランド国立劇場にテキストを提供。帰国後活動を再開。2012年文化庁芸術祭新人賞受賞。2013年龍谷奨励賞受賞。2015年利賀演劇人コンクール2015優秀演出家賞一席受賞。利賀演劇人コンクールに参加したメンバーを中心としたカンパニー、サファリ・P設立。2015年よりアトリエ劇研アソシエイトアーティスト、2016年よりゼノン文化財団シニアフェロー。2017年俳優の高杉征司とともに合同会社stamp設立。主なテキスト提供作品にカンパニーテラシネラ「椿姫」(演出/小野寺修二)、主な演出作品に、モノオペラ「ひとでなしの恋」(増田真結作曲、藤木大地出演)など。



Regan Linton (リーガン・リントン)
 [劇団「PHAMALY」アーティスト/ディレクター]
 (後期演劇コース)

俳優、教育者、著述家、演劇団体での障害者分野における発言者として活動。デンバー出身。ロサンゼルス時代のUSC時代に交通事故で脊髄を損傷。イングルウッドのクレイグ病院でリハビリをし、USCで学位を取得。2005年からファミリーでパフォーマンスを始めた。その後、デンバーポストオペレーション賞、コロラドシアターギルド賞を受けた「スライドショー」や「ランマンチャの男」など数多くのファミリーの作品に参加した。劇団「PHAMALY」:1989年にデンバーにて非営利団体として設立。演劇・音楽・ダンスに触れる機会が少ない障害者や、芸術活動を望み自己の想いや表現力を求める障害者に対して、舞台芸術の世界から就労・自立・社会参加を実現。良質な作品を提供するために公演ごとにオーディションを実施。学生や主婦、ハリウッド俳優など、さまざまな人たちが個性・能力、新たな成長を身に付けるため、日々練習を繰り返して舞台を作り上げている。